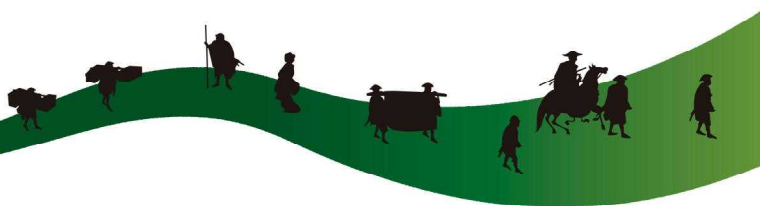


款往還

アーカイブズ展示

絵図と古文書で見る萩往還

出品目録



開催にあたって

中国四国地区アーカイブズウィークは、昭和63年（1988）6月1日、我が国で初めて、アーカイブズ（記録資料）の保存利用に関する法律「公文書館法」が施行されたことを記念して、アーカイブズの重要性と保存利用についてPRするものです。6月1日から10日まで、中国四国地区の文書館施設が共同して、様々な行事を展開します。

近年、江戸時代の古い絵図を片手にした町歩きが人気を呼んでいます。また、現在開催中の「おいでませ!山口イヤー観光交流キャンペーン」でも、県内各所で古地図を片手にしたウォーキングが実施されるなど、街道と絵図に対する人々の興味や関心が高まりをみせています。そこで今回のアーカイブズ展示は、館蔵資料の中から、歴史の道「萩往還」に関する資料を紹介することといたしました。

この機会に、実物の資料が持つ迫力に接していただき、アーカイブズ保存の重要性について理解を深めていただければ幸甚です。

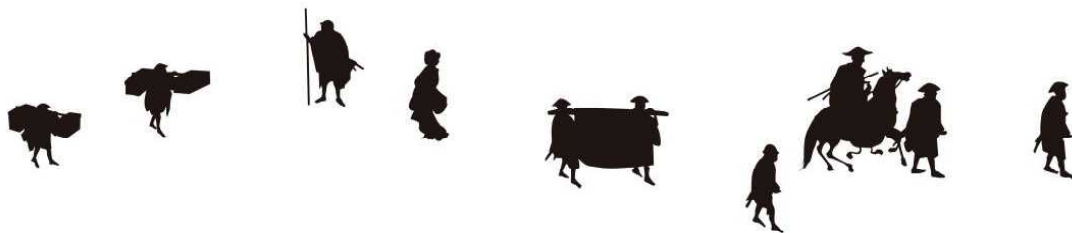
平成24年6月9日

山 口 県 文 書 館

◎今回のアーカイブズウィークでは、当館専門研究員が実物の絵図や古文書を手にしながら解説する、ライブ形式の「ギャラリートーク」を開催します（参加無料）。

*ギャラリートーク日程

6月9日〔土〕 ①10:30～11:00 ②16:00～16:30 ／ 6月10日〔日〕 ①10:30～11:00 ②15:00～15:30





萩往還

萩唐樋札場と三田尻（防府市）を結ぶ12里（約53km）の街道で、城下町萩と山陽道を最短距離でつなぐ主要道として整備されました。萩藩では、領内の街道に「大道」「中道」「小道」「灘道」のランクを設けていましたが、萩往還は、最も上位の「大道」に位置づけられていました。

平成元年（1989）、国の史跡に指定されました。また、平成8年（1996）に、文化庁選定の「歴史の道百選」、平成16年（2004）には、萩～山口区間が、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれています。

◇萩往還の一里塚 *下線は、国指定史跡。

- ① 倅坂（萩市）かせがさか ②明木（萩市）あきぎ ③鉾切（萩市）ほりきり ④佐々並（萩市）ささなみ
 ⑤ 上長瀬（萩市）かみながせ ⑥一ノ坂（山口市）いちのさか ⑦木町（山口市）きのまち ⑧御堀（山口市）ごぼり
 ⑨ 小鯖（山口市）こさば ⑩鯖山（山口市）さばやま ⑪佐波川（防府市）さばがわ



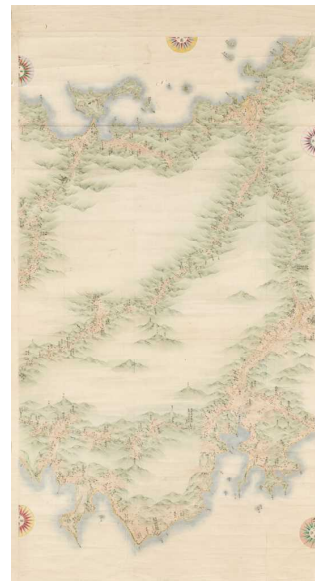
上長瀬一里塚

絵

伊能図に描かれた萩往還。

1 御両国測量絵図（伊能図）二番 防長7鋪のうち1鋪

伊能忠敬が作成した「伊能図」（大日本沿海輿地全図）に萩往還がはっきりと描かれています。展示資料は、そのうち、萩・長門～小郡・宇部地域のもので、萩往還の萩～山口間が描かれています。本図は、萩藩が伊能家から入手した写本です。縮尺は36,000分の1（大図）です。



図

萩往還のカラーガイドブックです！

2 行程記 登り一（山口周辺） 1帖

「行程記」は、萩藩絵図方が作製した街道絵図で、萩～江戸間の主要街道である萩往還、山陽道、東海道などが全23帖にまとめられています。街道を画面の中心に据え、沿線の集落や自然景観が色鮮やかに描かれ、地名や寺社、名勝旧跡の由来書も豊富で、江戸時代の街道沿線の様子を知る上で貴重な歴史資料です。萩往還・山陽道部分は、明和元年（1764）頃の作製とみられています。縮尺は7,800分の1です。

と

もちろん、お殿様もお通りになります。

3 御国廻御行程記 巻五（防府・宮市周辺） 1帖

寛保2年（1742）に萩藩絵図方が作製した街道絵図「御国廻御行程記」^{おくにまわりおんこうていき}にも、萩往還の防府・宮市周辺が描かれています。本図は、萩藩主の御国廻り（領内巡視）の道筋を描いたもので、萩を出発し、防長の外縁を一周するおよそ120里の行程が、折本7帖にまとめられています。縮尺は5,600分の1です。

古

なんと、街道沿線の寺社ガイドブックもあります。

4 寺社旧記 7冊

「御国廻御行程記」の別冊として作成されたものです。街道沿線の寺社の由来が記されています。絵図中の寺社に割り当てられた「いろは文字」と、同じいろは文字を「寺社旧記」で見ると、その由来が詳しくわかる趣向になっています。

文

防長の街道ランクと区間です。

5 長門国周防国大道小道并灘道舟路之帳 2冊

だいどうしょう どうならびになだみちふなみの ちょう

「大道 小道 并 灘道舟路之帳」は、慶安2年(1649)、萩藩が「正保国絵図」とともに幕府に提出したものです。

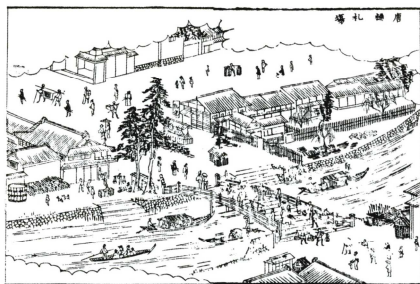
江戸時代の街道を知る基本的な文書です。別名「道の帳^{みち ちょう}」とも言います。萩往還は、最上級の「大道」のランクであったことがわかります。※『山口県史 史料編 近世3』に収録されています。

書

ここが萩往還の起終点「唐樋札場」だ!

6 八江萩名所図画 巻五 1冊

幕府や藩の掟や通達などを記した高札場が置かれていました。萩往還、赤間関街道、石州街道の起終点で、防長の一里山の多くには「萩唐樋札場より何里」と記されていました。平成22年度に復元整備されています。国指定史跡。



で

萩往還をズバリ描きました!

7 長門国阿武郡萩より周防国山陽道筋宮市宿迄往還図 1鋪

萩唐樋札場から宮市宿までの往還筋をシンプルに描いた絵図です。一里山や宿場、河川などがはっきりわかります。



見

道松って、こんなにたくさん植えられていたんだ!!

8 山口宰判道松絵図 1綴 / 9 三田尻宰判道松絵図 1綴

江戸時代、軍用と旅人の道標とするため、街道の両側に数多くの道松が植えられていました。例えば、萩往還の周防長門国境・板堂峠～山口・長野村だけでも、4,718本も植えられていたことが記録に見えます。現在、道松の大半は失われていますが、一筋の街道に沿って延々と道松が立ち並ぶ景観は、とても印象的なものであったにちがいません。

る

一里山の塚木の形は？

10 三田尻宰判奈美村石高境目書 1冊

一里塚は、一里（約4km）ごとに建てられた、街道の距離を示す施設です。防長では、一里山とも呼ばれていました。一里山は、石や土で半球形に盛った塚の上に、四角柱の塚木を建てたもので、塚木には「従〇〇〇〇 △△△里」のように、基点の地名と里程が記されていました。

萩

往還の管理ルール、ありました。

11 諸御書付二十八冊（道橋并道松修補の事） 1冊 / 12 御書付其外後規要集 三（道松植継の事） 1冊

萩藩では、往還の道・橋・道松などの管理について、細かく取り決めていました。管理は基本的に村々の負担でしたが、普請や道松の植継ぎなどがおろそかになることが多く、道をきちんと維持管理するのは、今も昔も容易ではありませんでした。

往

古写真で見よう! 萩往還の面影。 13～18 絵ハガキ（山口・上堅小路ほか）

明治～大正時代の古写真に、江戸時代の萩往還の面影を見ることが出来ます。



鰐石の重石（山口市）



佐波川の船橋（防府市）

萩往還を、もっと知りたい方へ。

萩往還を知る上で便利な本をいくつか紹介します。

- 19『歴史の道調査報告書 萩往還』（山口県教育委員会、1981）／ 20『絵図で見る防長の町と村』（山口県文書館、1989）
 21 萩ものがたり31集『絵図で見る萩の街道一萩往還・石州街道・赤間関街道一』（山田稔著、2011）／ 22 街道の日本史43『長州と萩街道』（小川國治編、吉川弘文館、2001）／ 23『長州維新の道（下）萩往還』（図書出版のぶ工房、2011）／ 24『歴史の道萩往還ルートマップ』（山口県文化財愛護協会、1988）

出品資料一覧

No.	資 料 名	冊 数	資料番号
1	御両国測量絵図（伊能図）二番	1鋪	毛利家文庫58絵図241（7の2）
2	行程記 登り一（山口周辺）	1帖	毛利家文庫30地誌41（25の1）
3	御国廻御行程記 巻五（防府・宮市周辺）	1帖	毛利家文庫30地誌57（7の5）
4	寺社旧記	7冊	毛利家文庫12社寺
5	長門国周防国大道小道并灘道舟路之帳	2冊	毛利家文庫58絵図238
6	八江萩名所図画 巻五	1冊	松元淳収集文書149
7	長門国阿武郡萩より周防国山陽道筋宮市宿迄往還図	1鋪	毛利家文庫58絵図407
8	山口宰判道松絵図	1帳	県庁伝来旧藩記録889-5
9	三田尻宰判道松絵図	1帳	県庁伝来旧藩記889-4
10	三田尻宰判奈美村石高境目書	1冊	地下上申379
11	諸御書付二十八冊（道橋并道松修補の事）	1冊	毛利家文庫40法令135（29の6）
12	御書付其外後規要集 三（道松植継の事）	1冊	毛利家文庫40法令159（24の4）
13	絵ハガキ（山口・上堅小路）	1枚	絵ハガキ文庫726-58-20
14	絵ハガキ（山口・象頭山頂からの眺望）	1枚	雨村家文書398
15	絵ハガキ（山口・鰐石橋）	1枚	絵ハガキ文庫726-58-57
16	絵ハガキ（防府・佐波川の船橋）	1枚	絵ハガキ文庫726-58-32
17	絵ハガキ（防府・防府天満宮）	1枚	絵ハガキ文庫726-58-28
18	絵ハガキ（防府・三田尻御茶屋）	1枚	絵ハガキ文庫726-58-34

*いずれも山口県文書館蔵。図書類（No.19～24）は省略しています。



山口県文書館

Yamaguchi Prefectural Archives